



## Press Release

2020年3月11日

※本プレスリリースは、2020年3月5日にドイツ・ヘンケル本社が発表したプレスリリースの日本語訳版です。本プレスリリースは英語が原本であり、その内容・解釈については英文プレスリリースが優先します。

サステナビリティの確かな実績を礎として

### ヘンケル、サステナブルなパッケージングの実現と気候保護に向けた意欲的な目標を新たに設定

- 2020年のサステナビリティ目標達成へと向かう力強い歩み
- 2025年までにプラスチックごみの発生回避と削減を目指し、パッケージングの新たな目標を設定
- 2040年までにクライメート・ポジティブ(環境に前向き)な企業を目指す

デュッセルドルフー2020年3月5日 ヘンケルは、包括的なサステナビリティへの取り組みの成果と進捗状況を詳細に報告するサステナビリティレポート第29号を公開しました。今後の戦略的なフレームワークを紹介するとともに、サステナブルなパッケージングの実現や、気候保護などの重要なテーマに関する新たな目標について、概略を報告しています。

ヘンケル最高経営責任者のカーステン・クノーベルは、「サステナビリティの実現を目指す活動は、ヘンケルの企業文化に不可欠なものとして、これまで数十年にわたって続いてきました。2020年に掲げた目標に敢然と取り組む一方、ヘンケルは気候保護、循環型経済、社会の発展に積極的に貢献するためのマイルストーンを新たに設け、将来に向けた目標の強化を進めています。サステナビリティは、私たちの新たな戦略的フレームワークにしっかりと組み込まれ、他社に差をつける強みとなっています」と述べています。

またヘンケルの経営委員会メンバーで人事とサステナビリティを担当するシルヴィー・ニコルは、「世界的に見ても、ヘンケルという企業にとっても、これからの5年間がその先の未来を決定づけることになるでしょう。地球の温暖化に歯止めをかけ、国連が定めた『持続可能な開発目標(SDGs)』を達成するために、私たちは確実に正しい道を進んで行かなければなりません」と述べています。

#### 2020年のサステナビリティ目標達成へと向かう力強い歩み

2030年までに、ヘンケルは事業活動の効率性を、2010年当時の環境フットプリントの状況と比べて3倍にまで高めることを目指しています。これはヘンケルのサステナビリティ戦略の要となる目標です。2019年末時点ですでに、総合的な効率性を56%向上させることに成功しています(基準年2010年との比較)。

ヘンケルは、2020年までの目標のうち3つを早くも達成しています:CO<sub>2</sub>排出量を31%削減し、生産量1トン当たりの廃棄物量を40%削減しました。労働環境の衛生状態と安全性については42%の改善を果たし、2020年の目標をすでに超えています。また生産量1トン当たりの水消費量を2010年との比較で28%削減しており、目標とする30%削減を目前にしています。

## 気候保護に対する明確な目標

CO<sub>2</sub> 排出量の削減によって地球温暖化を抑えるために、ヘンケルは長期的なビジョンをさらに強化し、クライメート・ポジティブな企業を目指すとともに、バリューチェーンの各関連分野においてさらなる前進を続けます。

シルヴィー・ニコルは、「2040 年までにクライメート・ポジティブな企業になるというビジョンを掲げる私たちは、確かな足取りでカーボンニュートラル(大気中の CO<sub>2</sub> の量に影響を与えない)の一步先へと進み、業界をリードする存在としてサステナビリティの実現に取り組む姿勢を示していきます。自社の事業をさらに発展させる一方で、私たちの目標はバリューチェーン全体のパートナー各社とも連携し、地球の環境保護に貢献していくことです」と述べています。

2040 年に向けてクライメート・ポジティブな企業を目指す過程で、ヘンケルは 2025 年までに生産活動に起因するカーボンフットプリント(CO<sub>2</sub> 換算の温室効果ガス排出量)を 65%削減する方針を立てています。エネルギー効率を継続的に改善し、使用する電力を再生可能エネルギー由来のものに変えることで、目標達成を目指します。現在生産に使用している化石燃料をすべて、2040 年までにクライメート・ニュートラルな代替燃料に置き換え、余剰エネルギーが発生した場合には他社に提供したいと考えています。

また、お客様や一般消費者、サプライヤー各社にヘンケルブランドの製品と技術を活用いただくことによって、2025 年までの 5 年間で 1 億トンの CO<sub>2</sub> 削減を実現したいと考えています。

## 2025 年に向けたパッケージングの新たな目標

循環型経済の促進を助けるサステナブルなパッケージングの実現に向け、ヘンケルはこれまで活動を続けてきました。その実績を礎として、2025 年に向けたさらに意欲的なパッケージングの目標を新たに掲げて取り組みを強化します。

- **100%リサイクル可能・再利用可能**<sup>1</sup>: ヘンケルの包装材をすべてリサイクル可能または再利用可能な素材にします<sup>1</sup>。
- **石油由来プラスチックの使用を 50%削減**: 石油に由来するバージンプラスチックの一般消費財への使用を、50%削減することを目指します。世界全体で一般消費財の再生プラスチック使用比率を 30%超まで増やす、プラスチックの全体的な使用量を減らす、バイオプラスチックの使用を徐々に増やす、などの手段で達成できる見込みです。
- **ゼロウェイスト**: 自然環境へのごみ廃棄ゼロを願うヘンケルは、廃棄物の回収やリサイクル活動を支援し、クローズドループ型のリサイクル活動を積極的に進める数々の画期的なソリューションやテクノロジーに投資しています。年間 20 億人超のお客様に届けることを目標に、リサイクルに関する適切な情報を発信していきます。

2019 年末時点で、ヘンケルの包装材の 85%にリサイクルまたは再利用が可能な素材が使用されています<sup>1</sup>。ヨーロッパでは、ヘンケルの一般消費財の包装材に占める再生プラスチック素材の割合が 12%に達しています。

<sup>1</sup> 接着剤製品については、残留物がリサイクル作業に支障を与えたり、作業工程で有害物質を排出したりする恐れがあるため、対象外とします。

## 地域社会へのポジティブな社会的影響

ヘンケルが重点的に取り組んでいる 6 つの分野のひとつが、社会の発展に力を尽くすことです。ヘンケルは 2025 年までに、100%信頼のおける原料調達先を確保し、ポジティブな社会的影響力をさらに高めて地域社会に貢献したいと願っています。そのために、サステナビリティアンバサダーとし

て研修を受けた 5 万人を超える従業員の力を活用し、世界中の 2,000 万人の人々がよりよい生活を送れるよう支援したいと考えています。

## 責任ある調達

サプライヤー各社との密な対話を大切にすることで、ヘンケルはサステナビリティを実践し、バリューチェーンに関わるすべての人たちの権利を尊重してきました。ヘンケルは 6 段階の調達プロセスを、責任ある調達戦略のための重要な要素と考えています。それらのプロセスは、サプライヤーのサステナビリティ達成度を評価する目的に使われ、ヘンケルの購買活動にしっかりと組み込まれています。2019 年に購入した物品の約 86%が、パッケージング、原材料、受託製造に関するものでした。

責任ある調達を目指すヘンケルの姿勢を如実に示すのが、2011 年に他社と共同で始めた「サステナビリティのための協力 (Together for Sustainability: TfS)」という化学業界の持続可能なサプライチェーンを推進するイニシアチブです。この取り組みには化学工業界のあらゆる分野から 23 のパートナー企業が参加しており、ますます複雑化するサプライチェーン管理プロセスの統合を目的として、サステナビリティに配慮しながら互いに協力しています。TfS イニシアチブの主な役割は、監査とオンライン評価の実施です。厳選した独立監査法人と、サステナビリティ分析に特化したサービスを提供する格付け機関 EcoVadis に実施を依頼しています。

## 差別化要因としてのサステナビリティ

カーステン・クノーベルは、「ヘンケルは、サステナビリティを事業活動のすべてにしっかりと根付かせ、部門を超えた全社的なイノベーション戦略を中央で支える柱とすることを目標としています。それによってヘンケルはさらに資源効率性に優れた企業となり、高い競争力を発揮できるようになるでしょう」と述べています。

例えば一般消費者向けのビューティーケア事業部門とランドリー & ホームケア事業部門では、サステナブルなパッケージングの実現と、用途を特定した製品ブランドの新規展開に重点を置くことで、製品ポートフォリオの強化を図ります。アドヒーズ テクノロジーズ (接着技術) 事業部門は、業界に画期的なソリューションをもたらす製品とテクノロジーを駆使し、持てる力を存分に発揮していきます。

ヘンケルのサステナビリティに関する詳細情報は、[www.henkel.com/sustainability](http://www.henkel.com/sustainability) でご覧いただけます。

## ヘンケルについて

ヘンケルはバランスのよい、多角的なポートフォリオを備え、産業および一般消費者向け事業をグローバルに展開しています。優れたブランドとイノベーション、テクノロジーを誇るヘンケルは、アドヒーズテクノロジーズ (接着技術)、ビューティーケア、ランドリー & ホームケアの 3 分野において、グローバルリーダーとしての地位を維持しています。1876 年に創立し、140 年以上に及ぶ成功の歴史があるヘンケルは、ドイツのデュッセルドルフに本社を置き、世界に 52,000 名以上の社員を擁しています。サステナビリティの分野をリードする存在として評価されるヘンケルは、多くの国際的指標やランキングでトップの地位を維持しています。2019 年の売上高は 200 億ユーロを超え、営業利益はおおよそ 32 億ユーロを超えました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。さらなる情報はこちら [www.henkel.com](http://www.henkel.com) をご覧ください。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

## コンタクト

Jennifer Ott  
Phone +49 211 797-2756  
Email [jennifer.ott@henkel.com](mailto:jennifer.ott@henkel.com)

Hanna Philipps  
Phone +49 211 797-3626  
Email [hanna.philipps@henkel.com](mailto:hanna.philipps@henkel.com)

— 本件に関するお問合せ先 —  
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美  
TEL: 03-5783-1219 e-mail: [hidemi.onoo@henkel.com](mailto:hidemi.onoo@henkel.com)